

資料 1

令和 3 年度数値目標取り組み結果 [まとめ]

ホップステージ

■ A103 電気使用にかかる温室効果ガス排出量を、2019 年度比で 1.6%削減します。

[達成状況：×]

13.4%の増加となり、目標は達成できなかった。

電気使用量は、基準年度と比較して 3.1%の増加となった。コロナ禍における感染対策として常に換気を行っていることから、エアコンにかかる電気使用量の増加が主な要因と考えられる。また温室効果ガス排出量の算定に用いる排出係数が基準年の 0.500 から 0.550 になったことにより、排出量が大きく増加した。

	2019 年度 (排出係数：0.500)	2021 年度 (排出係数：0.550)	増減率
温室効果ガス排出量	3,895,661 kg-CO ₂	4,418,949 kg-CO ₂	13.4%
参考：電気使用量	7,791,322 kwh	8,034,452 kwh	3.1%

■ A104 公用車等の燃料使用にかかる温室効果ガス使用量を、 2022 年度までに 2019 年度比で 5.5%以上削減します。

[達成状況：×]

3.7%の増加となり、目標を達成することができなかった。

ガソリンは主に公用車、軽油はバスやスキー場の降雪機の燃料として使用されている。コロナ禍において出張の機会が減り、ガソリンの使用量は減少したものの、スキー場における軽油の使用量が増加したことにより、温室効果ガスの排出量が基準年よりも多くなった。

	2019 年度	2021 年度	増減率
温室効果ガス排出量	387,615 kg-CO ₂	402,138 kg-CO ₂	3.7%
参考：ガソリン使用量	80,229 ℓ	69,755 ℓ	△13.1%
参考：軽油使用量	78,095 ℓ	93,143 ℓ	19.3%

■ A105 公用車の使用にかかる温室効果ガスの排出量を、2022 年度までに 2019 年度比で 0.6%以上削減します。

[達成状況：○]

14.0%の削減となり、目標を達成することができた。

コロナ禍において出張の機会が減り、走行距離が減少したことによるものと考えられる。

	2019 年度	2021 年度	増減率
温室効果ガス排出量	10,042 kg-CO ₂	8,631 kg-CO ₂	△14.0%
参考：走行距離	1,099,141 km	973,239 km	△11.4%

資料 1

- A106 その他燃料使用にかかる温室効果ガスの排出量を、2022 年度までに 2019 年度比で 5.5%以上削減します。

[達成状況：○]

4.8%の削減となり、目標を達成に向けておおむね順調に進捗している。

軽油の使用量は若干増加したものの、A 重油の使用量は減少した。LPG については、コロナ禍による事業中止や施設の休館に伴って調理等の機会が減り、使用量が減少したと考えられる。

	2019 年度	2021 年度	増減率
温室効果ガス排出量	795,376 kg- CO2	756,986 kg- CO2	△ 4.8%
参考：灯油使用量	159,087 ℓ	163,585 ℓ	2.8%
参考：A 重油使用量	61,702 ℓ	55,618 ℓ	△ 9.9%
参考：LPG 使用量	35,426 m ³	30,372 ℓ	△14.3%

- A107 公共事業における省エネルギーに関する環境配慮率を、100%にします。

[達成状況：○]

1000 万円を超える公共工事のうち、空調・照明設備等の設置・更新は 17 件あり、いずれも高効率の空調や照明機器等を導入した。

- A108 コピー用紙等の使用量を、2025 年度までに 2019 年度比で 2.5%以上削減します。

[達成状況：○]

令和 3 年度 6 月から行政施設に電子決裁システムを導入したことにより、決裁のための紙出力が不要となり、大幅に使用量を減らすことができた。

	2019 年度	2021 年度	増減率
使用量（購入量）	24,989 kg	22,641 kg- CO2	△9.4%

- M107 環境や環境マネジメントシステムにかかる職員研修を年 1 回以上開催します。

職員はこれに積極的に参加し、その内容を理解します。

[達成状況：○]

環境マネジメントシステムにかかる環境マネージャー会議を 7 月 26 日に開催した。

環境学習会は開催することができなかった。

部署別研修は、のべ 108 回行われ、うち 5 回以上実施した部署は 5 部署あった。

資料 1

■ M112 ホップステージの取り組み項目や目標について、監査を年 1 回実施します。

[達成状況：○]

[実施日程]

令和 4 年 1 月 19 日	推進本部監査	
1 月 21 日～1 月 24 日	実行本部監査	
1 月 26 日	全体協議	※監査対象部署：25 部署

■ G104 環境に関連する情報を、広報および HP で年 50 件以上提供します。

[達成状況：○]

[掲載件数]

広報うちこ	くらしのエコロジーや環境に関する活動報告・啓発など	85 件
内子町 HP		21 件

ステップステージ

■ A205 内子町環境基本計画にかかる事業の達成度を示す指数および数値目標の達成率を 70%とします。

[達成状況：○]

59 事業・106 の指数・数値目標に対し、「計画通り実施できた」22.0%、「一部実施できた（半分以上）」49.2%、「一部実施できた（半分以下）」23.7%、「実施できなかった」16.9%の結果となった。

「計画どおり実施できた」「一部実施できた（半分以上）」を合わせると 71.2%となり、おおむね目標を達成することができている。

■ A206 内子町環境基本計画にかかる独自の数値目標を各部署で設定・実施し、その達成率を 90%とします。

[達成状況：○]

240 の目標の達成率が 90.9%となり、目標を達成することができた。

目標数		達成度		
		100%	90%以上	89%以下
自 然	79	49	9	21
暮らし	84	68	4	12
環境教育	77	50	3	24
合 計	240	167	16	57

資料 1

- M206 内子町環境マネジメント推進本部会議を年 2 回開催し、評価・見直しを行います。

[達成状況：○]

令和 3 年 7 月および令和 4 年 2 月に開催し、取組目標の決定・監査報告などを行った。

- M207 ステップステージの取り組み項目や目標について、監査を年 1 回実施します。

[達成状況：○]

ホップステージ (M112) とあわせて実施

- G203 環境に関する施策・事業について、町民との直接の意見交換の場を年 20 回以上設けます。

[達成状況：○]

各種委員会、うちエコの実施にかかる協議、学校や地域におけるエコ見回り・環境学習会など、のべ 20 回の機会を通じて意見交換を行った。

ジャンプステージ

- A302 うちエコに賛同し実践する事業所等を 3 つ以上設け、公表します。

[達成状況：×]

昨年度に続き、新たな呼びかけを行うことができなかった。

賛同事業所：2 事業所（丸三産業株式会社 五十崎工場、有限会社内藤鋼業）

- A305 エコロジータウン内子のまちづくりを推進するため、環境団体等が主体となって勉強会を年 1 回開催します。

[達成状況：○]

環境 NPO サン・ラブが主体となり、3 月 27 日「省エネ DIY」をテーマに内子発環境会議（特別版）を開催した。

- A307 えひめ AI-1 の利用促進を図るため、環境団体が主体となり農業分野における実践活動を 1 つ以上行います。

[達成状況：○]

環境 NPO サン・ラブが主体となり、えひめ AI-1 使った竹堆肥を製造し、果樹の土壌改良にかかる実証実験を実施している。（5 年計画の 2 年目）

- A308 環境団体が主体となり、環境に関する実践活動を、他団体と連携して 15 回以上

資料 1

開催します。

[達成状況：○]

3 団体・ のべ 52 回の活動を行った。

■ M304 ジャンプステージの取り組み項目や目標について、監査を年 1 回実施します。

[達成状況：×]

新たにうちエコに賛同いただける事業所を募ることができず、未実施となった。

■ G302 町民・事業者や団体、自治会等の環境への取り組みについて、年 1 回は広報で紹介するとともに、年次報告書に掲載し公表します。

[達成状況：○]

広報掲載：19 回

年次報告書（「内子町環境報告書」）を町 HP にて公表

■ G303 住民、団体等による主体的な活動を 5 種類以上サポートします。

[達成状況：○]

3 団体・ 5 種類の活動について、年間を通じてサポートを行った。